

宮城県考古学会連絡紙

第55号

2012年7月28日発行

〒980-8576 仙台市青葉区川内27-1

東北大学大学院文学研究科考古学研究室 宮城県考古学会事務局

2012年度 宮城県考古学会総会・研究発表会報告

5月20日(日)に、東北歴史博物館において、2012年度宮城県考古学会総会・研究発表会を以下の日程で開催しました。

★総会 10:00～10:50

田中則和副会長から開会の挨拶があり、つづいて議長団の選出により議長に相原淳一氏、副議長に山川純一氏、書記に大久保弥生氏が選出され、5件の議事が行われました。

議案第1号 2011年度の事業報告について

議案第2号 2011年度収支決算報告(案)

議案第3号 2012年度の事業計画(案)について

議案第4号 2012年度収支予算(案)

議案第5号 役員改選

以上の各議案について担当幹事から説明があり、審議の結果、議案第1号から第5号まで承認されました。

★研究発表会 10:00～10:50

特集「宮城県における歴史地震・津波被害-考古学的検討を今後深めるための第一歩-」

講演

「慶長奥州地震津波の歴史的分析」 蛭名祐一

研究発表

「縄文時代における古津波堆積層」 相原淳一

「宮戸島の震災履歴」 菅原弘樹

「仙台平野の弥生時代・平安時代の津波痕跡」 斎野裕彦

「発掘調査により知られる貞観11年(869)陸奥国巨大地震・津波の被害とその復興」 柳澤和明

「2011年東北地方太平洋沖地震に伴う津波堆積物と古津波」

松本秀明

討論

※以上の講演1件と研究発表5件を行った。参加者は延べ200名あり、特集目的の今後の研究の第一歩とすることができました。

2012年度事業計画

1. 2012年度総会・研究発表会 5月20日(日)

会場:東北歴史博物館 講堂

共催:宮城県史跡整備市町村協議会(研究発表会のみ)

総会:2011年度の事業報告ならびに決算、2012年度の事業計画・予算案、役員改選

研究発表:特集1件(講演1件、発表5件)

2. 宮城県遺跡調査成果発表会 12月。会場、日時未定

共催:宮城県教育委員会、宮城県史跡整備市町村協議会(予定)

事例発表 10 遺跡、資料発表 10 遺跡程度を予定

3. 会誌『宮城考古学第14号』の発行と『宮城考古学第15号』の編集作成

4. 連絡誌の発行 年4回を予定

5. ホームページの運営

6. 役員会の開催

代表幹事会・役員会 年6回程度を予定

会合は必要に応じて随時開催

東日本大震災対策特別委員会は必要に応じて随時開催

7. 研究部会の活動への支援

旧石器部会、縄文部会、古墳・古代部会、阿武隈水系部会、中世部会

2012年度 宮城県考古学会役員名簿

2012年度は宮城県考古学会の役員改選時期になっております。第8期(2012・2013年度)の役員・代表幹事の名簿をお知らせいたします。

会長:辻 秀人(東北学院大学)

副会長:田中 則和(地底の森ミュージアム)

幹事長:佐藤 敏幸(東松島市教育委員会生涯学習課
東松島市コミュニティセンター)

(総務)

代表幹事:鹿又 喜隆(東北大学大学院文学研究科考古学
研究室)

及川 謙作(仙台市教育委員会文化財課)

森田 義史(松島町教育委員会)

庄子 裕美(仙台市教育委員会文化財課)

(企画)

代表幹事:福山 宗志(涌谷町教育委員会)

茂木 好光(石巻市立女子高等学校)

大谷 基(大崎市教育委員会文化財課)

小原 一成(多賀城市教育委員会)

山田 隆博(山元町教育委員会生涯学習課
山元町歴史民俗資料館)
鈴木 隆(仙台市教育委員会文化財課)
佐藤 秀一(角田市教育委員会)

〈会誌〉

代表幹事:安達 訓仁(栗原市教育委員会文化財保護課)
佐藤 優(大崎市教育委員会文化財課)
村上 祐次(宮城県教育庁文化財保護課)
熊谷 篤(岩沼市教育委員会生涯学習課)
傳田 恵隆(東北大学考古学研究室)
小野寺智哉(登米市教育委員会生涯学習課)

〈連絡誌〉

代表幹事:柳澤 和明(東北歴史博物館学芸部)
鈴木 雅(蔵王町教育委員会)
関根 章義(仙台市教育委員会)
田村 正樹(七ヶ浜町教育委員会
七ヶ浜町歴史資料館)
中野 祐平(石巻市図書館)
主濱 光朗(仙台市教育委員会文化財課)
廣谷 和也(宮城県多賀城跡調査研究所)

〈監事〉

高橋 守克(多賀城市教育委員会文化財課)
高倉 敏明(多賀城市教育委員会文化財課)

博物館展覧会情報

【地底の森ミュージアム】

「特別企画展 発掘富沢！！—30年のあゆみ—」
会期 7月13日(金)～9月17日(月・祝)
開館時間 9:00～16:45(入館は16:15まで)
休館日 8月6日(月)を除く月曜日または祝日の翌日・
第4木曜日
観覧料金 一般400円、高校生200円、小中学生100円

【登米市歴史博物館】

「横穴墓の世界-市内出土資料を中心に-」
会期 7月28日(土)～9月17日(月・祝)。月曜日休館。
開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)。無料。

今年度の主要発掘情報

【宮城県文化財保護課】 <http://www.pref.miyagi.jp/bunkazai/>
多賀城市山王・市川橋遺跡、山元町涌沢遺跡、大崎市団子山西遺跡、丸森町卯月沢遺跡

【仙台市教育委員会】 <http://www.city.sendai.jp/manabu/bunkazai/>
与兵衛沼窯跡、郡山遺跡、南小泉遺跡、養種園遺跡、大野田官衙遺跡、六反田遺跡、芳塚古墳、沖野城跡、富沢遺跡、洞ノ口遺跡、鴻ノ巣遺跡、仙台城跡ほか

【蔵王町教育委員会】 <http://www.dokitan.com/>
谷地遺跡

第1回代表幹事会・東日本大震災対策特別委員会 合同会議

7月22日(日)に東北学院大学考古学実習室で開催しました。
①各幹事会報告・予定等、②特別委の報告、今後の活動について、報告・協議しました。

宮城県考古学会ホームページ URL 変更について

宮城県考古学会のホームページURLおよび連絡先メールアドレスが下記の通り変更となりました。ブックマーク等の変更をお願いします。また、発掘調査速報、イベントの情報等、宮城県の考古学情報をお寄せください。

宮城県考古学会ホームページ <http://www.m-kouko.net/>
宮城県考古学会メールアドレス info@m-kouko.net

今年度の連絡紙の発行回数について

第1回連絡紙幹事会で、今年度の連絡紙の発行を従来の年4回から年3回にし、減らした1回はHPで各種情報を充実させることにしました。この案は第1回代表幹事会で了承されましたので、今年度は7月、11月、3月の3回発行いたします。

会誌「宮城考古学」への投稿案内:原稿募集中です!

〈書式について〉

- ①A4版横組(縦 297mm×横 210mm)。版面は縦 233mm×148mm。
- ②本文は 10.5ポイント・明朝体で横書き・45字×35行。註・引用文献は 9ポイント・明朝体で横書き・47字×48行。ヘッダやフッタなどは記載しないでください
- ③論文:本文、挿図、写真、表などを含め、18頁以内。
- ④研究ノート:試論、予察、着想などの短論文。12頁以内。
- ⑤報告・速報:注目される発掘調査の報告や測量調査など。8頁以内。
- ⑥資料紹介:8頁以内。
- ⑦抜刷部数は最大100部(進呈30部を含む)。

〈連絡先〉宮城県考古学会会誌幹事会 代表 安達 訓仁
※個人情報につき連絡先削除

情報・寄稿などをお寄せ下さい!!

考古学に関する情報や寄稿、会員通信等お寄せ下さい。また、連絡紙の愛称や内容、取り上げて欲しいこと、提言などご意見ご要望もお待ちしております。

本会 Web サイト(<http://www.m-kouko.net/>)では随時情報を募集しております。発掘調査情報、学会、イベントなど考古学に関する情報をお寄せください。

〈連絡先〉 柳澤和明(連絡紙代表幹事)

E-mail: info@m-kouko.net (宮城県考古学会)